

佐賀縣佐賀高等女學校

熊本縣師範學校

熊本縣商業學校

熊本市熊本女子高等小學校

宮崎縣宮崎郡立職業學校

鹿兒島縣女子師範學校

鹿兒島縣師範學校

秋田縣本莊中學校

秋田縣横手中學校

東京美術學校

富山縣工藝學校

・井芹 一二

・藤原美治郎

・長谷川德巖

・宮崎彌太郎

・本田 利實

・戸波武五郎

・梶川 儀夫

・半澤 松吉

・吉田哲五郎

・波根 義三

・中島 次郎

〔。印は本校卒業生——編者記す。〕

### 東京美術學校近事〔一〇—四。M・四五・一・一〕

○圖書師範科生徒募集 今回本校にては、例によりて同科生徒を募集すべき旨發表せられたり。募集人員は約二十人、薦舉期限は四年三月一日より同月十四日迄に、本校に到着する様地方廳より薦書書を回送すべき規定にして、同科生徒は學資として一ヶ月金六圓を補給せらるべし。而してその撰拔試験は四月一日より本校内にて施行すべきに付、薦舉せられたるものは、三月三十日（土曜）午前中本校に出頭して、試験要項を承知すべき定めなり。尙詳細は十二月十六日官報廣告にあり。

### 関連事項

#### ① 東京美術學校火災

明治四十四年一月二十五日の本校火災の状況については「東京美術學校近事」（49頁）に詳しく記されている。貴重な美術品や書籍は文庫に収蔵されていて延焼を免れたため、損害額は意外に低い値となったが、本館とともに焼失した本校創立当初以来の記録文書類は金銭に換算しがたいものであり、今日からみると実に大きな損失であったと言わねばならない。本館は、明治四十年度に始まった本校改築工事においてはこれに改修を加える計画であったが、焼失したため新築することとなり、大正二年に完成した。

『東京美術學校校友會月報』第九卷第四号を見ると、上記の「東京美術學校近事」の欄の外に文芸欄でも火災に関するものが掲載されている。沐川生の「焼跡」は新聞に幸徳秋水らの死刑執行の記事と本校火災の記事が並んで載ったことや、焼跡に集まって来た教員、生徒らの茫然とした様子を伝えており、広川菽泉（松五郎）の「灰燼」、夏川の「あとの三日目」、屋代晁江（鈇三）の「残烟」には焼跡に寄せる思いがうたわれている。また、写真部が撮影した焼跡の写真や川柳虹（誠）筆の焼跡スケッチが掲載されている。

火災後二月十三日までの間に本校ないし正木校長のもとへ届いた見舞状は八百通近く、その差出人住所姓名録が残っている。酒類、蜜柑、パン、弁当、菓子などの見舞品を届けた者も多い。高橋作衛は「Kioi」博士作石膏像」を寄附した。絵の具商杉山仙助は日本画科生徒のために絵の具一〇五個を寄附した。中村治兵衛も絵の具五十六個を寄附したが、これは凶画師範科と西洋画科の生徒に分配

された〔自明治四十四年  
至大正元年 庶務雜書類 庶務掛〕。

なお、左記の文書によれば、この火災でグラスゴーの学校生徒の  
図画類も焼失したことがわかる。

英國グラスゴー生徒成績焼失ニ付

文部省へ通知案〔明治四十四年三月三日立案〕

兼テ本校ニ於テ参考ノタメ借用致居候英國グラスゴー学校生徒圖  
畫成績別紙目錄之品先般本校火災之際取出スノ違ナク遂ニ焼失致  
候間可然御取計相成度此段得貴意候也

年月日 学校長

文部省文書課長宛

目錄

一 グラスゴー出品図画其他 拾四枚

一同 設計図其他 四点

一同 図画成績 八冊

以上

〔明治四十四年ヨリ  
同四十五年マデ 文部省往復 庶務掛〕

## ② 川端玉章古稀記念展覧會、祝賀會

明治四十四年二月二十六日から十日間、日本美術協会列品館で本  
校教授、帝室技芸員川端玉章の古稀を記念する作品展（天真会主催）  
が開かれた。出品申込みが七百点にも及んだので順次陳列替えをし  
て展示した。御物の四季山水図、帝室博物館所蔵の甌具売図、九鬼  
隆一所蔵の近江八景図をはじめ、過去の作風を概ね網羅し、その変

遷を窺うに足る展覧會であつたという。三月五日には上野精養軒で  
参会者千余名による古稀祝賀會が開かれ、本校校長正木直彦および  
九鬼隆一の祝辞、手品、下谷芸妓の手踊り、伊井一座の喜劇女天下  
などがあり、来会者に玉章の経歴、逸事、画論、門人たちの談話を  
載せた小冊子『川端玉章』と記念帛紗が頒たれた。

## ③ 第二回東京勸業博覧會

明治四十四年三月二十日より六月十日まで上野公園不忍池畔勸業  
協會で第二回東京勸業博覧會が開催されたが今回は本校では特に協  
力体制はとらず、教官、生徒及び卒業生が個々に出品しただけであ  
つた。

## ④ 図画師範科の參觀旅行

図画師範科の職員、生徒、卒業生の組織である錦巷会の機関誌  
『錦巷』創刊号（明治四十四年四月）に、「參觀旅行」と題する記事が  
あり、白浜徴引率による同科三年生の群馬、長野、山梨三県下諸学  
校參觀旅行の詳細が報告されている。同科の生徒は卒業を前にして  
このような実地見学を行なっていた様子である。報告書は日程、報  
告分担者名、高崎市教育品展覧會・高崎高等女学校・長野県師範学  
校図画科および手工科・長野高等女学校・松本高等女学校・松本中  
学校・開智小学校・松本女子師範学校および附属小学校・甲府師範  
学校の見学報告から成るが、ここには日程と報告分担者名のみを転  
載する。